

ながい 議会だより



3月議会定例会
町づくりを問う
一般質問6人が登壇
ぎかいトピックス

②

⑧

⑭

第3回中井町フォトコンテスト優秀賞
— 「五月晴れ」青木房雄 様 —

議会メールアドレス



第183号
平成30年5月1日発行
神奈川県中井町議会

E-mail gikai@town.nakai.kanagawa.jp

平成30年度予算審議

3月定例会
(3月6日~16日)

一般会計予算 38億7,900万円 総額69億4,832万円

町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。
その中から、いくつかをお知らせします。

ここが
聞きたい!



持続可能なまちづくりを目指す

歳入

■ 総括

問 本年度予算は前年度と比べて歳入は1億3100万円の増。昨年10月末に提示された中期財政展望では、2億円の減と予想されていたが、この差の理由は。

答 29年度の決算見込みと税収の伸びが見込める状況を踏まえ、30年度当初予算編成にあたった。

問 中期財政展望のもと、税収は減り、歳出は増えるという5カ年計画を町政懇談会で提示したのは、町民の不安をおおっただけではないのか。

答 当初予算と中期財政展望では、時間的な経過がある。その時点で最新の数字を提示した。

総務費

6億2765万9千円

■ 里都まち交流拠点

問 里都まちガーデンが間もなく完成するが、今後、里都まちCAFÉと一緒に、公設民営で運営していくのか。

答 里都まちCAFÉを運営管理している商工振興会に運営をしていた。

問 公設民営の原則を守りながら、支援が必要と思うが、今後の方針は。

答 商工振興会とは、話し合いながら、いろいろな課題の解決に向けて努力していきたい。

■ シティプロモーション事業

問 ウェルカムブックと動画作成委託料の内容は。

答 ウェルカムブックは、今までなかった、町をPRする冊子。動画は、総合的にPRするものと、人文字や町の四季の自然等を、ドローンで空撮したもの。

問 宣伝するのはいいことだが、金額が高いのでは。

答 動画のうち1本と歌については、一切予算を使っていない。今後も有効に活用していきたい。

■ なかい誕生110年記念事業

なかい誕生110年を記念して中井の魅力を発信して行く。

問 事業の内容は。

答 ラジオ体操、記念講演など。

問 町内に向けたものが重要。

答 町民の検討委員会・課長会議で予算査定を含め決めた。

問 大きな出費につき、失敗しないようにしてほしいが。

答 皆さん全体で盛り上げたい。

■ Wi-Fi整備事業

100万円

問 町内3カ所だけでなく、もっと広げていく考えは。

答 まずは3カ所ですべてやっていく。その枠の中で始めて展開を見ながら今後の方針を考えたい。

■ まちづくり活動補助金

問 実績と内容は。

答 基本的に地域活動・防災活動・子育て支援など公益的な事業に支援しており、29年度は4団体に20万円支援した。

民生費

11億6743万5千円

農林水産業費

1億6978万7千円

■ なかいこども園の運営

問 なかいこども園は入園減がとまらない状況であり、特色を持ったしっかりとした教育が求められている。今後、どのような運営に努めるのか。

答 障がい児保育等について、公立が責務として請け負うべきと考え、積極的に受け皿として職員の資質向上も含め取り組んでいく。

■ 保健福祉センター施設運営事業

問 空調設備改修工事費3500万円についての内容は。

答 保健福祉センターは竣工以来23年が経過をしている。空調設備については老朽化が激しく、今回、更新作業、吸収冷温水機、冷房をつかさどる熱源機の交換等、整備費を計上した。

■ 有害鳥獣駆除事業

問 有害鳥獣の実施隊員報酬と駆除委託料は。

答 実施隊員の報酬は、農作物の被害を減らすための実施隊で駆除委託料は、地域での見回り等に係る報償費。

■ 地籍調査事業

問 藤沢川周辺と藤沢地区現況測量の説明を。

答 藤沢川周辺は、地籍調査を実施し、一筆地調査と現況測量を行う。藤沢川の周りは、川が曲がっている。現況を測量してその上に公図を重ね合わせて町民への説明資料を作成する。

■ 子育て支援事業

問 ファミリーサポートセンターの利用頻度を高める、便利に思ってもらえるよう、何を進めていくのか。

答 子育て支援センターが、PRも含めて相談窓口になっている等の周知に努めていく。

■ 図書管理システムの導入は

問 もっと早い段階で実施すべきでは。

答 早急な対応が必要だった。改善に努めていく。

■ 水源の森林づくり事業

問 農村環境改善センターの図書管理システムについて、平成30年度の対応は。

答 まだ、その段階ではない。今後、検討し計上したい。

■ 里都まちブランド事業

問 藤沢川周辺の地籍測量が済めば河川の改修ができるのか。

答 境界を確定できたら、整備することと県と協議している。

■ 水源地の森林づくり事業

問 全体計画として、あと何年で終了するのか。

答 現在3期の1年目が終了する。4期20年で事業を打ち切ることにしている。

■ 子育て支援センターの事業

問 プロジェクト委託料は、どのような契約をされたのか。

答 プロポーザル方式で決定。ブランド部会の運営と開発支援に係る事業と資料づくりを行う。



ブランドマルシェの様子

商工費

8129万円

問 子育て支援センターの事業拡大、または内容の見直しを計画しているか。

答 月2回の産後ケア事業により拡充を図っている。

問 既に準備が進んでいると認識しているか。

答 パソコンで職員が入力している程度の準備で、システムを入れる段階ではない。

問 4期20年のスパンだと、最初におこなった所が元に戻ってしまうのでは。

答 一回整備した場所を何年か後に整備する。今までも数力所している。今後も、状況を見ながら取り組んでいく。

問 プロジェクト委託料は、どのような契約をされたのか。

答 プロポーザル方式で決定。ブランド部会の運営と開発支援に係る事業と資料づくりを行う。

土木費

6億5899万6千円

■ インターチェンジ周辺の土地利用

問 秦野市との連携は。

答 市長と町長との話合いで、今までどおり連携を図っていく。

問 調査委託の方法は。

答 一括の指名競争入札か、個々にするか、準備組合の設立状況を見ながら発注する。

問 総額はどのくらいになるか。

答 概算費用は、準備委員会、発起人会もできていないなかで、公表できない。

問 産業系拠点の方向付けは、どのように考えているのか。

答 企業誘致については、準備組合等ができた中で、事業協力者を選定していくことになる。早急に決めていけば、街区等の大きさ等が決まるということで、並行して、早期の内に募集をかけていくことになる。

■ 児童公園費

問 他市町村では、児童数の減少から公園を無くすところがある。町は、どのように児童公園を考えているのか。

答 行政評価の中でも、利用度の少ないところは、統廃合の必要性があると言われている。維持管理と統廃合を考えていく。

問 遊具の老朽化の現状は。

答 11月の点検で、重度の劣化があるものが25基ある。予算の中で順次解消していく。



使用できない公園の遊具

消防費

■ 防災行政無線

デジタル化工事費



デジタル化される防災行政無線屋外子局

問 概算で4億6千万円。当初、国7割負担分の3億2千万円は交付税、町は3割負担との計画説明であったが。

答 交付税に算入される元利償還金合わせて7割が見込めると回答した。不交付団体であれば反映はされない。普通交付税の算定も厳しい状況である。見込みが甘かった。

教育費

3億2332万円

■ 要保護及び進要保護児童の援助費

問 小学校・中学校の3校を合わせた援助費額は28年が約500万円、29年度が約680万と要保護、進要保護児童が増えている。子どもの貧困率が上がっているのではないかと。経済困窮にある家庭への支援、配慮は欠かせない。

答 29年度井ノ口小24名中村小24名中井中26名。認定者数は増えている。制度の周知、広報に努力している。

■ スポーツイベント委託料 キッズサイクル フェスティバル

問 3回目になるイベント。250万円の委託料が必要か。

答 事業者からすると、最低限の金額とすることで予算計上した。

問 人を呼ぶこと、町民が参加すること、どちらを町として重視していくのか。

答 スポーツイベントとして交流を図る中で進んでいる事業。推進交付金をうまく利用している。

国民健康保険特別会計

問 前年度比で4882万円減額となり一般会計からの負担が軽くなっているように見えるが。

答 県単位化が大きな理由。激変緩和措置ということもあり、全体の額として圧縮してきている。

問 国民健康保険税の加入者負担は厳しい、軽減に繋がるとは考えなかったのか。

答 県の統一保険料率を国は考えている。法定外の一般会計繰越金については検討しなければならぬ。

予算対 反対討論

尾尻孝和 議員

町民のくらしに寄りそった
予算に

内閣府は「景気は、緩やかな回復基調が続いている」と強調します。しかし、町民の多くが「くらしが楽になった」という実感はなく、むしろ、「厳しくなっている」「生活が苦しい」という思いでいます。

介護保険料が今年から値上げされ、基準額となる保険料は5190円上がって、6万4590円となり、介護保険料だけで、所得の8%もの負担となります。高齢者は保険料を年金から天引きされ、毎日の生活の「どこを切り詰めようか」悩んでいます。

国民健康保険は、この4月から制度の大きな改定がおこなわれ、高すぎる国保税は、今後さらに値上げされ、町民の生活にのしかかることが予想されます。このような状況だからこそ、多くの町民が望んでいる「社会保障の充実」「医療・介護負担の軽減」「子育てと教育費の負担軽減」など、町民の願いに対

し、行政として、一人ひとりのくらしに寄りそった取り組みが求められます。

昨年3月、防災行政無線デジタル化事業は、全額起債事業として提出されました。

「国から持ってこられるものは、最大限引き出そう」という思いから、「事業予算の元利返済総額の7割、おおよそ3億円を超える金額が交付税措置される」と考え、提案されたものと思います。しかし結果は、この3億円も含め、すべて町の負担となりました。

もし、昨年3月、不交付団体となる見直しをもてたら、一般財源で予算化し、足りない分は財政調整基金から充当することで、1億円近い経費削減が出来たこととなります。

行政の長として、確かな教訓として、今後の行財政運営に生かしていただきたい。

以上の点を申し添え、2018年度予算案に反対の討論とします。

予算対 賛成討論

成川保美 議員

これまでの施策事業の成果や課題を検証し、限られた財源を優先度の高い事業へ重点配分されたことは評価いたします。

平成30年度重点プランの「活力を生み出す里都まち交流人口増加プラン」「快適なライフスタイルによる定住促進プラン」を推進するには、町民の心の豊かさ、満足度があつてこそ、真の成功に繋がる事を念頭に入れて頂くことを強く求めます。常に血税を投資する時には、自分のお金ならどうするか？事業家ならば、この委託額で契約を結ぶだろうか？等も視点に入れ、年度別目標を定め投資的效果を検証し、町民のサービス向上に繋がることを前提として頂くよう求めます。

本年度の介護保険料の改正値上げは、年金生活者にとっては、厳しい現状となっています。中井町は、子育て世代の充実と共に高齢者にも優しい町でありますように、一般会計からの繰入

額も必要な事と判断します。

新規事業の「病児・病後児保育事業」は、病児の子供にとつて、せめて病気の時ぐらひは、親の愛情に包まれ自宅で静養できるのが最善であります。この点について、深く議論を重ねて頂く事を望みます。「なかい誕生110年記念事業」は、13本の事業に分散されています。目的をはっきりと定め、町民の皆さまにご理解を頂ける事業にする事を求めます。里都まちCAFÉ、里都まちガーデンが、町内外の方に愛される交流の場となるよう期待します。土地計画推進事業では、インターチェンジ周辺に新たな産業系拠点の形成を図るとし、その開発にかかる最終的投資額、実現年度計画、産業系拠点による歳入見込み額等を議会に提示されるよう求めます。

最小経費と最大効果を意識した行財政運営の予算執行をされることを職員一人ひとりに望み、賛成討論と致します。

介護保険特別会計

問 第一号被保険者保険料が前年度比で約8%の増であるが。

答 介護保険の対象者が3%ほど伸び、実績等から3%増を見込んだ。介護保険料の改定分は必要とし、5%ほどを見込んだ。

問 30年度の保険料基準額が6万4590円となり、前期より5190円の増。値上げは高齢者の負担感が大変大きい。

答 県平均から比べれば、まだ8.7%の増というところ。

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は **6月5日 午前9時 開会予定**

湘南ケーブルテレビにて放映されます 102チャンネル 生放送

議会傍聴席は役場庁舎3階です
詳しくは議会事務局(☎81-3905)まで

主な審議内容

条例制定	2件
条例改正	11件
予算予問	5件
諮問	1件
委員会報告	1件

条例

◎中井町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例

平成30年度より居宅介護支援事業について、県にあった指定権限が町へ移譲されることから新たに町条例として整備した。

問 町が基準を定めるなかで、独自の変更を検討したのか。

答 神奈川県条例からの切り替えであり、継続性を検討した。

◎中井町手数料条例の一部を改正する条例

「地籍調査の成果証明」「境界証明」「法定外公共物の機能の有無に関する証明」について、

証明ごとに筆数・件数・枚数により規定するもの。

問 どのような課題があつて、改正するのか。

答 手数料を明確化するため。

◎中井町介護保険条例の一部を改正する条例

3年ごとに改訂する介護保険事業計画のなかで、介護保険料も見直し、8.7%の引き上げをおこなつた。

問 保険給付費の増加を見込んでの引き上げだが、どのような審議をしたのか。

答 基金を活用し保険料を軽減した。運営審議会を4回開催し、基金の活用・適正な保有額、生活支援体制の整備等について意見をいただいた。

人事案件の諮問

人権擁護委員に

秋山和江氏(再任)

を適任としました。

補正予算

平成29年度一般会計補正予算(第7号)

4429万3千円の追加

総額38億7552万7千円に

○農林水産業費

問 地籍調査費に関して、今ここで804万8千円を追加するのはどういふことか。

答 国の平成29年度補正予算による。これを繰り越し、来年度に予定した藤沢地区の一筆調査

を実施していく。

○土木費

問 河川維持費、1300万円減額の理由は。

答 坂本地区の雨水管渠整備工事で、インター周辺整備等の関係から規模を縮小した。

答 国民健康保険加入者の社会保険制度への変更による。12月時点で昨年と比較すると187人の減。

平成29年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

534万6千円の追加

総額7億7587万6千円に

問 介護制度、サービスについて、どのように考えているか。

答 高齢化に伴い給付費、認定者数も伸びている。介護予防事業等に力を入れていきたい。

国への意見書

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書

厚生労働省は「看護師等の『雇用の質』の向上のための取組について」(5局長通知)や医師、看護職員、薬剤師などの医療スタッフが健康で安心して働ける環境を整備するため「医療分野の『雇用の質』の向上のための取組について」(6局長通知)の中で医療従事者の勤務環境の改善のための取り組みを促進してきました。また、医療勤務環境改善に関する改正医療法の規定(2014年改正)では、勤務環境改善に向けた各医療機関の取り組みを支援するよう都道府県に求めています。

しかし、国民のいのちと暮らしを守る医療・介護現場は深刻な人手不足となっています。そのため、労働実態は依然として厳しくなっており、安全・安心の医療・介護を実現するためにも医師・看護師・介護職員の増員や夜勤改善を含む労働環境の改善は喫緊の課題となっています。

「医療機能の再編」を前提とした医療提供体制の改善ではなく、必要な病床機能は確保したうえで労働者の勤務環境を改善していくことによる医療提供体制の改善が求められています。看護師の具体的な勤務環境の改善を可能にする増員計画を作成し、そのための看護師確保策を講じていく必要があります。

安全・安心の医療・介護を実現するためにも、医師・看護師、介護職員の大幅増員・夜勤改善を図る対策を講じられるよう、下記の事項について国に要望します。

1. 医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替制労働における労働環境を改善すること。
 - ① 1日8時間以内を基本に、労働時間の上限規制や勤務間インターバル確保、夜勤回数の制限など、労働環境改善のための規制を設けること。
 - ② 夜勤交替制労働者の労働時間を短縮すること。
 - ③ 介護施設などにおける1人夜勤を早期に解消すること。
2. 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師・医療技術職・介護職を増員すること。
3. 公費負担を手厚くし、患者・利用者の負担軽減をはかること。
4. 費用削減を目的とした病床削減は行わず、地域医療に必要な病床機能を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

内閣総理大臣 安倍晋三 殿
 総務大臣 野田聖子 殿
 財務大臣 麻生太郎 殿
 文部科学大臣 林 芳正 殿
 厚生労働大臣 加藤勝信 殿

平成30年3月16日

神奈川県足柄上郡中井町議会

**中井町国民健康保険条例の一部を改正する条例に対する
反対討論**
尾尻孝和議員

加入者の占める65歳〜74歳の割合は、国保が38%、健保組合3%です。国保加入者は高齢者が多く、1人当たり医療費は、国保33万円、健保組合15万円と、国保は健保の2倍以上になっています。

さらに、加入者の所得水準で見ると、1人当たり平均所得は、国保が86万円、健保組合207万円です。

これらの結果、所得に占める保険料の負担が、国保10%、健保組合6%となり、国保加入者の保険料負担感が、たいへん高いものになっています。

この高い国保税負担を和らげるため、市町村による法定外繰り入れが、平成27年度、全国で約3852億円おこなわれています。

以上のような国民健康保険制度の構造的な矛盾、これを解決するには、かつての「給付費6割国庫負担」の回復こそ必要です。

しかし、今回の制度改定は、制度移行のための予算措置はしても、移行後の高すぎる国保税負担を軽減する財政措置はありません。

それどころか、市町村が住民の国保税負担を少しでも軽くしようと、取り組んでいる法定外繰り入れ、これをなくす方向へ誘導する制度改定となっており、到底容認できるものではなく、反対を表明します。

審議した議案等と審議結果

平成30年第1回定例会

提出者	議案名	議員名	議決日	審議結果	加藤久美	井上泰弘	峯尾進	庄司征幸	尾上壽夫	尾尻孝和	戸村裕司	原憲三	森文嘉	小清水招男	成川保美
町長	中井町手数料条例の一部を改正する条例		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び中井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町営住宅条例の一部を改正する条例		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町国民健康保険条例の一部を改正する条例		3/7	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
町長	中井町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町都市公園条例の一部を改正する条例		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	平成29年度中井町一般会計補正予算(第7号)		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	平成29年度中井町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	平成29年度中井町介護保険特別会計補正予算(第4号)		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	平成29年度中井町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	平成29年度中井町下水道事業特別会計補正予算(第3号)		3/7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		3/7	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町国民健康保険財政調整基金条例		3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例		3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例		3/16	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
町長	中井町介護保険条例の一部を改正する条例		3/16	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
町長	平成30年度中井町一般会計予算		3/16	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
町長	平成30年度中井町国民健康保険特別会計予算		3/16	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
町長	平成30年度中井町介護保険特別会計予算		3/16	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
町長	平成30年度中井町後期高齢者医療事業特別会計予算		3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	平成30年度中井町下水道事業特別会計予算		3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	平成30年度中井町水道事業会計予算		3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書		3/16	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※岸 光男 議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対を表しています。

一般質問

買い物弱者対策と 商店会支援は

他 1 問



峯尾 進 議員

町長 町民ニーズを踏まえ調査研究していく

本町は自家用車による近隣市町への買い物依存が多く、高齢化による運転免許の返納により、行動範囲が狭くなり買い物難民化になる事が心配され、生活支援や地元商店会の活性化を促進して、中村・境・井ノ口地域がバランス良く、均衡を保ち発展する事が望ましく、多様な町民のニーズに応えた町づくりを一層進めていく責務があると考え次の質問をします。

持続発展と連携した土地利用を図る。

問 地域の温度差や変貌していく現状をどのように捉えているのか。また自治会の地域支援も含め問題点などどのように抽出して対応するのか。

答 自治会への未加入の増、コミュニティの希薄化など大きな課題として認識している。常時地域自治会から意見を伺う機会を設け、課題ごとに各所管においている。

問 中村下地区が大きな変わりようを見せている中、アンケートでは・商業施設の立地が40.9%・地域交通網の整備37.1%・医療体制や産院の充実が33%になっており、その中で中村下地区は人口2142人、その内高齢者世帯が425世帯で、これから買い物弱者が最も増える予想がされ、スーパーの誘致など住民の声があるが、町は今後どのように捉えていくのか。

答 中村下地区への商業施設の誘致については、たびたび業社のほうから要望があり、調整しながら準備を進めてきたが、いまだに回答がない。今後相談等には町も積極的に取り組む。

問 タウンマネージメント構想や、中村下会館を利用した公民連携を含めたシエアリングエコノミーなど挙げられるが、どのような考えがあるのか。

答 現実的に商圏として中井町では難しいと考えている。商工会と前に、移動販売等について検討させていただいたが、実用までいかなかった。改めて協議、意見交換した中で検討したい。

問 町内での労働環境の現状と協議相談窓口は。

答 国・県の機関による講演会の実施など啓発に取り組む。

問 目指す職員像を実現するためワークライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進と課題は。

答 シエアリングエコノミー物・サービス・場所などを多くの人と共有・交換して利用する社会的な仕組み。

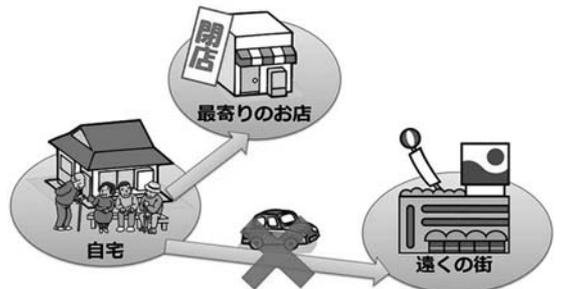
町における働き方改革は

問 町内の労働環境の現状と協議相談窓口は。

答 国・県の機関による講演会の実施など啓発に取り組む。

問 目指す職員像を実現するためワークライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進と課題は。

答 シエアリングエコノミー物・サービス・場所などを多くの人と共有・交換して利用する社会的な仕組み。



高齢化や人口減少などの影響で、身近な場所から買い物をするための店が撤退する地区が増えています。そのうえ、高齢のために自動車が運転できない等の理由で遠くの街まで出かけることが困難に感じる人々が多くなっています。

問 日頃から時間管理意識を持ち、業務効率向上や質の高い町民サービスが、継続的に提供出来るように努める。

答 高齢者と女性の雇用拡大の取り組みは。

問 高齢者の豊富な経験や技術の活用は重要。女性の雇用拡大については、多様で柔軟な働き方の選択肢を増やすことが必要と考えており、引き続き関係機関と連携して取り組む。

※シエアリングエコノミー

物・サービス・場所などを多くの人と共有・交換して利用する社会的な仕組み。

一般質問



井上泰弘 議員

総合計画の進捗状況は

町長 計画的な進行管理を図る

まちは町政懇談会と議会全員協議会において「歳入は年々減少し、歳出は増加する」との事で、政策的な事業をする事が厳しいとの説明であった。

定通り事業が進むのか。

る施設とあるが、どのくらいの頻度で利用されるのか。

で、経営が厳しいという問題がある。町はどの様に考えているのか。

町政運営の最上位計画である第六次総合計画前期基本計画から、財政的に厳しいなか、重点プランの進捗状況を伺う。

土地利用においての問題は、

里都まちCAFÉと周辺整備で70台分の駐車スペースが

運営面で色々な課題がある。経費の負担で、平成30年度予算に必要な措置を計上している。

総合戦略の進捗状況は、民間有識者で構成する「なかい戦略みらい会議」にて、年2回、各事業の取り組み状況を報告し、意見を踏まえながら事業の計画的な進行管理を図っている。

土地権者の合意形成を図ること、農振農用地と一般保留の土地利用が一体的に図れない事が一番の問題点である。

駐車場の確保は担当課と調整しながら検討させて頂きたい。

周知用の看板、里都まちCAFÉのバリアフリー等問題がある。どの様にするのか。

企業誘致はどの様に行うのか。

里都まちCAFÉの駐車場は舗装される。残りの駐車場も舗装出来なかつたのか。

改善を図るべく平成30年度予算に計上している。

IC周辺の土地利用で、発起人会発足の予定と状況は。

発起人会や準備委員会等が立ち上がり、事業計画ができる時点で考えていきたい。

地方創成交付金の対象事業で整備した。今後、ランドオープン以降の利用状況等検討し、利用者の利便性を向上させながら一体的な整備をしていきたい。

土地改良事業は、発起人を選出するため、戸別訪問し歩いている。一般保留区域は、戸別訪問をしてご理解を得た上で、発起人の選出をしていく。

里都まちCAFÉ及び周辺整備の進捗状況とランドオープンはいつになるのか。

地方創成交付金の対象事業で整備した。今後、ランドオープン以降の利用状況等検討し、利用者の利便性を向上させながら一体的な整備をしていきたい。

町政懇談会での町民の質問に32年造成開始、2年間の作業中に企業を誘致、34年ごろから営業開始、36年から税収が上がり、37年ごろから税収が上がるという説明している。

魅力創生ニュースには、ピザ窯、料理教室などが体験でき

整備課として出来るところは対応していきたい。

町政懇談会での町民の質問に32年造成開始、2年間の作業中に企業を誘致、34年ごろから営業開始、36年から税収が上がり、37年ごろから税収が上がるという説明している。

魅力創生ニュースには、ピザ窯、料理教室などが体験でき

整備課として出来るところは対応していきたい。



整備が進む里都まちCAFÉ周辺

一般質問

杉山町政3年間の取組みと 今後の行政運営は



森 文嘉 議員

町長 全身全霊を尽くして任期を全うしたい

杉山町政3年間の取組みと今後の行政運営について伺います。

問 生涯学習施設建設について、中期財政展望では「インター周辺での企業誘致施策の効果が表れる時期に、改めて実現の可能性を模索する」とある。中止と読み取れるがいかがか。

答 財政推計上、平成35年までは見合わせるということ判断した。

問 中期財政展望では「平成30年から5年間で、累計財源不足が37億円」とあるが、平成36年以降検討を再開するという判断ができるのか。建設準備委員会に諮られなかったのか。

答 時間的余裕がなかった。申し訳ないと思っている。

問 中期財政展望の信憑性だが、どのような基準があったのか。

答 各課からのローリングをもとに3年間を作成し、2年間は照会のうえ積み上げたもの。

問 予算編成では、各課より提出されたものから2億円、3億円と削る作業をする。それがあからさまに予算が出来上がる。それなしでは、5年後とか、いつ行なっても同様の財政推計になってしまうのではないか。

答 30年度予算でも、相当に削り収入も増やした。財政推計と比べると大幅に違う部分がある。

問 生涯学習施設建設を見送るにあたり、エレベーターの設置、多目的トイレへの改修、図書管理システムの電算化、郷土資料館の資料展示等はどうするのか。

答 財政と向き合っ中で、一時見合わせるという判断をしたが、町民の利便性等、様々な課題があることなど、総合的な判断が欠けていた。改めて町民との連携、課題、調整等踏まえて、しっかりと取り組んでいきたい。

問 インター周辺の事業は、どのように進めるのか。

答 秦野市と中井町の区画整理組合、そして土地改良事業の3組織で連携して進める。

問 砂利採取跡地の今後の復元計画は。

答 将来の有効利用に備えた整地の仕方などを、協議しながら復元を進める。

問 シティープロモーション事業で、「中井の魅力を発信して、交流人口を増やし、定住につなげる。」といわれるが、定住につながる中井の魅力とは。

答 都会的な感覚もありながら、緑豊かで、水も豊か。そして人間性も良いところを訴えたい。

答 子育て環境については優れていると思う。

問 町長公約の給食費補助について、100%実現のため事業仕分けをすると書かれているが、仕分け作業は。

答 厳しい財政の中で予算を捻出するため、公約の一番をそこにおいたが、本日まで事業仕分けとしては進んでいない。

問 秋の町長選への再出馬の決意は。

答 全身全霊を尽くして任期を全うしたいと考えている。



生涯学習施設建設が見送られた役場周辺

一般質問

農村環境改善センターに 障がい者施設補修を



原 憲三 議員

町長 施設の改修やあり方の検討をしてみたい

本町は「生涯学習施設等」の建設計画を平成36年度以降に延期されました。生涯学習施設検討・準備委員会等で10年以上の長きにわたり色々検討が行われてきましたが、前政権では結論を先へ先へと伸ばしてきました。

生涯学習施設の建設が先送りになり困るのは障がい者の利用です。改善センターは障がい者に対する設備が何もないことです。

問 障がい者差別解消法では、障害を理由に「不当な差別的取扱い、必要かつ合理的な配慮をしなければならない」と定められているが、このことをどのように考えているか。

答 改善センターは昭和58年に町民の社会的、文化的生活向上を推進し、地域連帯感の高揚を図るために設置され、各種会議の開催、講演会やスポーツにも幅広く利用されています。バリアフリーの点は不十分で、障がいの方々の利用に際し、ご迷惑をおかけしていることは認識しています。今後、施設の改修や

あり方などについて検討してみたいです。

問 全ての障がい者が障がい者でない者と等しく、基本的人権を享有する個人としてその尊厳が重んじられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、行政機関及び業者は、差別を行うなどとしております。

このような法律の中でも、今は建物が古いから、58年に建設された。今、障がい者の方も利用している。
しかし、トイレが無い、健常者のトイレはある。健常者はトイレに1〜2分で行ける。障がい者は時間を要します生涯学習センターも36年以降に障がい者の方も5年、10年、我慢していくことでもいいですか。

答 障がい者の方にもご不便をかけた上にご迷惑もおかけした



改善センターに障がい者施設補修を

だからいいのかなと思ってます。それじゃやっぱりおかしいと思います。平等に扱わなくちゃいけないと口では言っている。障がい者差別禁止法には参加しています、中井町もやっていますよ。それで正当ですか。
答 不当な差別扱いについては禁止、合理的配慮の提供については法的義務が課せられている。改善センターに車椅子を使う方がいらっしゃれば、別の施設を使ってもらふなどの配慮、これが合理的な配慮であるというふうを考えております。

状況があったことも聞いています。町でも重々承知をしている。対応がなかなか難しいこともある中で非常に申し訳ありません。

問 障がい者差別解消法で定められたこと。企業や店舗には強制的な義務はない、不当な差別取り扱いはしてはいけない。合理的な配慮をする努力しなければいけない。ところが行政機関では、しなければならぬことになってます。

障がい者の数少ない声ですよ。

問 合理的な配慮も結構です、現状として起きている。例えば改善センターで障がい者のスポーツをできますか。担当課長として考え違つてしょう。
法律の解釈は正しい解釈をしてほしい。

答 ご指摘の障がい者を決して差別をしているわけではございません。配慮に欠けていたというところでございます。今現在に來ている中で町も検討していかなければいけませんので、ご理解をいただきたいと思ひます。

一般質問

中井町の財政状況を どのように伝えるか

他 1 問



尾尻 孝和 議員

町長 調査・研究し、報告ができればありがたい

問 中井町が直面している課題に対し町民自身が対策を考えることで、地域づくりにかかわる住民を増やし、また地域の底上げを図っていく。そのためには中井町の財政状況、正確にわかりやすく発信していく。町民から出される疑問、意見に丁寧に対応し、町民が何を望んでいるか、町民相互の理解も深めつつ、

答 前向きに調査・研究させていただいて、報告ができればありがたい。

問 このまま何もしなければ大幅な歳出超過が予想されますと結論つけています。結論を引き出すのであれば、しっかりと精査した数字でグラフを示すべきではないか。
正確な財政状況、財政展望を町民にわかりやすく示していく作業、ぜひ取り組んでいただきたい。

広報なかいの1月号を見た町民の方から「税金がこんなに多いのに使えるお金が少ないというのはどういふこと」「こんな質問が寄せられました。」

答 その金額ベースで言うと、大変だなという感じ。
この状況、町長、どういふ感想をお持ちでしょうか。
（一覽表の下段参照）

問 都道府県単位化をスムーズに進めるために、政府は調整交付金を増額しました。ほかに、財政支援拡充分として1700億円を全国に配分します。新しい制度に移行した後、この交付金と支援金がなくなる場合、一体どういふ税額になってくるのか（一覽表の下段参照）。

答 税率自体については町が決めるので、あくまでも参考の数値（一覽表の中段参照）。

問 県から示された中井町の標準保険料率で計算した年間の健康保険税額、いくらになるのか。

国保の県単位化に伴い、 国保税見直しは

町民の暮らし、福祉を支え、安心・安全を確保し、行政としてのさまざまな施策に取り組んでいくことを求めたい。
答 そついう意図のもと、進めていきたい。

国民健康保険税年額比較（中井町）

単位：円。税額の右側数字は所得に対する割合（%）

40歳単身・資産税10万円

年間所得	100万円		200万円		300万円		
	現在	割合	現在	割合	現在	割合	
現在の保険税額	150,420	15.0	226,420	11.3	302,420	10.1	
標準保険料率で計算した保険税額※	調整・有り	150,420	16.2	226,420	12.2	302,420	10.9
	調整・無し	161,717	17.5	244,817	13.3	327,917	11.9

4人世帯（夫婦とも40歳、妻の所得なし、小学生2人、資産税10万円）

年間所得	100万円		200万円		300万円		
	現在	割合	現在	割合	現在	割合	
現在の保険税額	316,920	15.9	392,920	13.1	468,920	11.7	
標準保険料率で計算した保険税額※	調整・有り	340,356	17.0	423,456	14.1	506,556	12.7
	調整・無し	369,718	18.5	459,918	15.3	550,118	13.8

※町からの法定外繰り入れが無い場合の計算

問 国保税負担の上昇を抑えている町独自の繰り入れを縮小しよつと検討されていないのか。
答 今回は繰り入れのほうを、29年度から比べればすこく減らした部分がある。一律に一遍にゼロにしたら相当な金額が上がつてしまつ、先ほどの試算のとおり。

問 子どもさんが2人以上いる世帯の均等割を、1人として計算する対応。資産割をなくす検討は。
答 よく調査をさせていただき、将来的には、資産割はなくしていきたい。

一般質問

行政境の課題に 問題提起型で



戸村 裕司 議員

町長 課題を置き去りにせず取り組む

問 本町は3市2町と行政境を接し、境界でも多様な課題を抱えている。行政境で課題解決に向け、連携や調整、対話等の取り組みが必要であり、一層注力すべきであると考え、質問します。

答 第六次総合計画策定にあたって、町民参画の「まちづくりカフェ」で、地域の認知度を高める必要が判った。町をより多くの方に知ってもらうために、行政境付近に横断幕を掲げ、メッセージは、シテイプロモーションに関わった町民のアイデアを基礎として作成した。

問 秦野市と本町にまたがる震生湖を観光資源として秦野市と連携していく考えは。

答 本町でも貴重な地域資源であると認識。秦野市と一層の連携を図り、優れた自然環境を後世に残せるよう努めていく。



中井町側の散策路から見た震生湖

問 秦野市に合わせて擬木の柵の設置の考えは。

答 本町では、予算の関係で自然の木を使っている。改めて、今の考えがよいかは確認をしながら進めていきたい。

問 中井側からのアクセス道の取り組みは。

答 境別所地内の町道から、地権者の同意を得た中で、耕作道をアプローチの道路として位置づけている。

問 今後、中井に人の動きをつけていく展開は。

答 周辺には、秦野市にはない、まとまったミカン畑等が広がる。観光農園など、周辺住民の協力をいただき取り組みたい。

問 関東大震災でできた自然湖として、地層が目に見える形で見えている。露頭の保全を行い、ジオサイトとして捉えては。

答 秦野市と協議をしながら、今後、進めていきたい。

問 秦野市平沢で現在建設中の渋沢丘陵墓地だが、工事車両のほとんどが本町を利用している。それに対する本町の取り組みは。

答 平成26年度から工事が始まり、1日約30台の大型車両が行き来するとの説明を受けた。今年の5月末を目途に工事が終了する予定。町の取り組みは、事前に確認した舗装の状態を踏まえ、事後の確認作業を実施し、必要に応じて補修等について事業者と調整をする。

問 狭い道をすれ違うため、畑の畦畔がえぐられる、トラックの通行で振動がある、これらは隣市の工事で町民が受けてきた「被害」。住民が甘受してきたものをどう受け止めるのか。

答 地域住民の問題・課題があれば、確認等をしながら、安全確保という視点で事業者に指導してきた。

問 完成後の墓参者アクセスなど、永続的な課題に向け、事業者や秦野市と対話に入るべきでは。

答 現地へのアクセスは秦野方面と中井方面からのルートを案内することだが、現状よりも通行車両の増加が想定される。沿線住民や道路利用者にとって安全な状態となるよう事業者及び秦野市と協議していく。

問 連携も大事だが、大変な状況に合わせて問題提起型の地域交流を行うべきでは。

答 課題を置き去りにせず、しっかりと見据えた中で取り組む。



ぎかい トピックス

議会の取り組み、常任委員会の活動を町民の皆さまにお知らせするとともにご意見をお聴きするため、議会報告会を開催しました。

2月3日(土) 井ノ口公民館

2月10日(土) 農村環境改善センター
両会場あわせ24名の参加をいただき、多数の質問やご意見が寄せられました。ご意見は、今後の議会運営に役立ててまいります。

答 議会には予算編成権、執行権がなく、一般質問は各議員の権限で行っている。議員問討議

問 「議会だより」の一般質問ではその意図を記載する。質問で確認できたこと、残された課題をまとめるという形があれば検討してもらいたい。
一般質問は議員が独立して質問するわけだが、大きな問題については意見交換をしてまとめて質問してはどうか。重要な質問に町の回答は、する、しないで終始している。

【一般質問・質疑について】

の拡大など取り組んでいきたい。

問 「議会だより」だと、良い質問に対しても町からは否定的な回答しかない。生きた金を使うのは今だと思うが、納税者として情けないし、議会の質問も一蹴されている。

答 町長任期も11月まで。来年度、公約をどのように予算化しているかを見たい。「検討します」で終わらないよう、改めて質問をする。

【オンデマンドバス 事業の見直しは】

問 オンデマンドバスも年間3000万円かかっている。抜本的な見直しが必要。

答 実証運行が5年経過し、今後は1年契約になる。課題を見つながら更新して、公共交通空白地や免許の返納など執行の取り組みは課題である。



【里都まちのCAFÉ・ガーデンについて】

問 中央公園に里都まちガーデンが出来ると70台分の駐車場が潰れる。駐車場の利用方法を代えることが必要ではないか。

答 町の計画では、10台分の駐車場を作る。南側の未整備の部分を平らにして広げていくことが必要。駐車場という新たな課題がある。要望していく。

問 里都まちCAFÉは公設民営。商工振興会に委託しているが、赤字の場合、どう補填するのか。町が補填するのであれば何にもならない。

答 商工振興会と意見交換を行った。女性部を中心に運営しているが、プレオープンから苦しい経営。魅力ある交流拠点になるよう、運営安定に補助すべきと町長に伝えた。

【議会報告会のあり方について】

問 「議会たより」にはすべてが載っているわけではない。議会報告会で一年に一度は、議員活動について議員自身が書いたものを配布してはどうか。

答 「議会たより」は、限られた紙面のなかで重要な部分を載せている。個人の広報は必要だと思いが、各議員でアピールしてもらいたい。

問 議会の運営、組織は素晴らしいと理解している。そういう報告だけでなく、少子高齢化など現実の問題・課題について議会の見解を示してほしい。

答 指摘はあっている。チェック機関、監査機関ということだけでなく、議会で個人個人の意見を持ち寄って対応していきたい。

【委員会報告について】

総務経済常任委員会で継続審査中

問 シティプロモーションに関する総務経済常任委員会委員長報告にある「その後の迅速適切な内容チェック」とはどのように行われているのか。

答 行政に対して注視をしているという意味。

問 生活交通対策について「最良の」対策を目指していくというが、そのイメージが湧きにくい。イメージしたものは何なのか聞きたい。

答 今の車両の耐用年数もあり1年契約で見直していくということなので、それを追っていく。



【意見交換の場はいつでも?】

問 大地震の教訓を活かした議会災害対策基本条例は、大事なことだ。危険箇所について、議会は自治会の代表者と話し合えるのか。

答 意見交換の場への希望は自由に出してほしい。受け入れていきたい。

問 議会報告会では、時系列の委員会報告を配布してきたが、どうして変更になったのか?

答 結論に至るプロセスを知りたいという意見がある。テーマ、案件、経過の説明ができることを考えた。時系列の報告は割愛した。



議会報告会を終えて

議会広聴委員会委員長 成川保美

今年度は、「どうしたら町民の皆さまに議会報告会に足を運んで頂けるのか?」を議論し委員会がスタートしました。

まずはPR活動をと、委員が知恵を出し合い、ポスター・チラシをカラーで作成しました。

町中の掲示板47か所と公共施設・銀行・農協等、民間の協力も頂き掲示させて頂きました。チラシは初めて全戸配布しました。

アンケートの結果、掲示板を見て参加された方がおられた事が分かりとても感動しました。まだまだ、皆さまに気楽に参

加して頂けない要素があるようですので、様々な方法を考えて身近な報告会になるように今後も努力を続けます。皆様のご意見をお待ちしております。



今回作成したチラシ

平成30年度も議会報告会の開催を予定しています。日程は決定次第、お知らせいたします。

